

祝 第50回 平塚市子ども大会

つながり！元気！感動！

～笑顔がつくる明日の平塚～

1968 (昭和43)年から始まった小学校区ごとで開催している「子ども大会」は今年度50回を迎え各地区とも無事終了致しました。当時参加者の小学生も今は60才前後になり、青少年指導員という主催者として、あるいは学校関係者や地域諸団体関係者としてこの子ども大会を支えて下さっているかもしれません。

この子ども大会は「平塚市の子どもが、家族ぐるみで楽しい野外活動・レクリエーションの1日を過ごすことにより、親子の愛情を深め、心身ともに健全な子どもの成長を図り「明るい家庭づくり」「明るい地域づくり」を推進するため地域ごとに実施する。」という趣旨のもとにとりおこなって



平塚市子ども大会実行委員長 相馬 喜昭

記念号

ひびくつが

平成31年2月1日
平塚市
青少年指導員
連絡協議会

カラー版のダウンロードや、平塚市青少年指導員については二次元コードから

ゲーム大会・記録会・お化け屋敷・ミニ運動会・レクリエーション・陶芸教室・ウォークラリー・お菓子作り・野外炊事・ドッジボール大会・運動会のダンス・模擬店・夏まつり等々と実にバラエティに富んだ、そして工夫を凝らした内容は、その地区の実情に合わせて内容となっています。



来ました。特に青少年指導員としては、昔も今も変わらず、「子どもたちの笑顔が見たい」「子どもたちから笑顔を引き出したい。」という一心で取り組んでいるのです。

【広報委員会】

委員長 空	田邊 貴也
委員 花水地区 安永 典史	旭地区 田代 信子
委員 豊田地区 伊東 多恵子	神田地区 土屋 裕之
委員 金田地区 青木 一規	真土地区 石井 康仁
委員 松延地区 柳瀬 克則	松延地区 伊川 眞理
事務局 青少年課 三春 雄太	東渡林 拓也

ある地区では青少年指導員らしさというところで、参加者の子どもたちと「ありがとう」をキーワードにして、青少年指導員はもちろん、関わっていただいている諸団体や学校関係者と一緒に声を掛け合っている取組みもしています。子どもも大人もお互い「笑顔」で「ありがとう」と言い合える地域になることを願っています。

最近では、中学生ボランティアが関わり、かつて、自身が小学生の時、子ども大会に参加していた立場から地域のお兄さんお姉さんとして主催者をお手伝いしてくれる生徒も本当に多くなりました。

このように、これからもこの子ども大会によって、地域の子どもたちが青少年指導員との関わりはもろろのこと、中学生ボランティアや色々な大人との関わりの中で、「地域が子どもを育て、地域で子どもが育ち、結果、地域そのものが育つ。」…ように少しでも広がってくれたらと願っています。

「えがお」でつながり、広がる、大原のわ ドッジボール大会

第33回大原地区子ども大会

文字さがしの答え
「もしものとき」の、非常用持ち出し品

①かいちゅう	⑩おかげ
②かっぱ	⑪はぶらし
③スリッパ	⑫ラジオ
④ビニール	⑬たべもの
⑤ぶくろ	⑭タオル
⑥トイレット	⑮ヘルメット
⑦ペーパー	⑯ライター
⑧くんで	⑰きかえ

大原っこ なにがあっても知恵とやさしさで生き抜こう

6/2(土)の青空の気持ちのいい日に、大原小学校体育館にて120人を超える大原小の子どもたちが集まって、ドッジボールを楽しみました。高学年と低学年にわかれて各12人程のチームをつくり、ブロックごとの対戦をして、トーナメントで順位決定戦を実施しました。今年は全試合でソフトタイプのボールを使い、突き指もなく、子どもたちの笑顔がたくさん見られました。来賓の方々で編成したチームと低学年チームの試合は、和気あいあいとして、より良い交流となりました。待ち時間には、非常用持ち出し用品のこぼを探そう「大原子ども大会限定文字さがし」をチームごとにトライ。昨年に引き続き防災・減災を知るきっかけになればと「パズルを用いた啓発活動を試みました。最後に、みんなで集合写真を撮って楽しい大会を締めくくりました。

山下地区子ども大会

山下地区の子ども大会は、例年、山下小学校の体育館を会場に今年6月16日に開催しました。特に今年台風が多く発生し、子ども大会の日も台風が通過する予報で前日まで開催が危ぶまれましたが、当日は青空が広がり、絶好の子ども大会日和となりました。

昨年と今年とはドッジボール大会と大縄跳び、未就学の子どもたちにも楽しんでもらうため、ハーフタイムに障害物競争を行いました。

開催にあたっては、事前の調整や物品の調達など、当日までの様々な準備をメンバーで分担しながら行います。また、山下小学校の校長先生を始めとして多くの先生方、小学校PTAの皆さん、さらには中学生ボランティアのご協力をいただいています。

子ども大会は、われわれ青少年指導員にとって地域の子どもたちと顔を合わせ、一緒に楽しむことのできる貴重な時間であり、地域の子どもたちの健やかな成長をサポートし、地域に貢献できる機会です。これからも子ども大会の実実を固めるとともに様々な活動を通じて、子どもたちにたくさんの笑顔が届けられるよう努めていきたいと思います。

松延地区子ども大会

「昔、私が子どもだった頃、大人の人達が、夏休みに肝試しをしてくれた。ただ、お寺の門から入り、墓場の石を拾ってくるだけのことだったけど、とても怖くて、今でも忘れられない。今の子ども達にも大人になっても忘れられない何かをしてほしい。そんな青少年指導員の一言から松延地区子ども大会「肝試し」が始まってちょうど10年になります。

夜間の開催などこの地区もやっていた事を始めるには、学校側のご理解とご協力無しにはできませんでした。

子ども達のためにやってみよう。松延を巣立ち、日本中、世界中に羽ばたいて行った子ども達も、「昔、肝試しをやったな。」と思い出し、「あの町で、今度は自分が子供を育てたい。」と思ってくれるような地域をつくりたい。—その青少年指導員の全員一致の思いをくんでいただき、夜間の開催が実現しました。

肝試し会場の設置には、以前旭北公民館でお化け屋敷を作っていた、松延子協のOB、子ども会役員OBの皆さんにお手伝いいただきました。

松延小学校体育館から出発、1階の廊下から理科室、2階の廊下、岡工室と回り、1階の昇降口までのコースを毎年少しずつ変えながら、お化け屋敷作り、子ども達には「前の年より怖くなってる。」と大評判です。子ども達の付添いで入場した保護者のリピーターも多く「七夕のおぼけ屋敷より怖い。」とお墨付きを頂いています。低学年の子ども達は、入口からお化け屋敷に入ることも出来ず、リタイヤする子、頑張っただけの大泣きをして出てくる子、泣きながらも「去年は入口でリタイヤしたけど、今年は頑張ったの」と報告してくれる子と様々です。高学年でも平気な顔をしながらも「なんであんなに怖くしたのさ！（マジ去年より）コワイよ！」「誰も居ないのに急に風が吹いて来たり、ドアが開いたりするんだよ。ビビッたよー！」と大興奮です。この高度な技は、おやじの会のメンバーのおかげ、それぞれの特技をいかし素晴らしい装置を作り上げてくれます。今年も、60周年ということで、平塚広報、タウンページの取材も受け、記念すべき年になりました。これからも「子ども達のために！」を合言葉に活動していこうと思います。

みずほ地区 子ども大会

第50回 みずほ地区子ども大会を終えて～

平成30年5月13日、第50回 みずほ地区 子ども大会が開催されました。当日は天候にも恵まれ、参加児童数は過去最高の300名、幼児・大人も含めると384名の参加となりました。

私達みずほ地区では、4回目となる陶芸教室を開催しました。

本年度は、青指メンバーも大幅に変わり、過去の子ども大会を経験した指導員は2名しかおらず、企画・準備・実行にあたり、指導員全員で考え、意見し、情報を得ながら不安を拭き取ってまいりました。

しかし、育成会の皆様、各自治会の皆様、各団体の皆様のご協力のもと、事故や怪我もなく、無事開催することができました。

参加してくれた児童たちも、みんな楽しく陶芸を体験することができたのではないかと思います。

今回の陶芸教室のなかで、上手にできた児童、思う様に作れなかった児童、結果は様々だったと思います。ただ、日頃なかなか経験できない陶芸という創作活動を通じて、児童たちが地域の皆様、父兄の皆様との交流を深め、ものを作る喜びを感じてもらえたら有り難いと思います。

第50回 なでしこ地区 子ども大会

第50回の「なでしこ地区子ども大会」は、テーマを「グミと、ごはんを使ったおだんご」で、そしてキーホルダーを作ろう!!」をテーマに、6/24(日)になでしこ小学校の体育館で開催しました。

大会当日は、子ども94名、先生5名、協力団体(PTA、防犯支部、体育振興会など)合わせて約120名の参加で、盛大に開催しました。

- ・手作りグミは、かき氷シロップとゼラチンで!
 - ・おだんごは、ごはんをビニール袋でこねて、五平餅風に!
 - ・キーホルダーは、カラフルな紐を使って作成!
- と、参加した子ども達大人も一緒に楽しんで作成し、美味しく頂きました。なでしこ地区の子ども大会は、物づくりと、手作り食べ物1年ごとに開催しております。今後も、青指メンバー8名で力を合わせて、参加する子ども達の笑顔あふれる楽しい大会を目指し、また、協力して頂ける大人・青指メンバーも一緒に楽しみ、子ども大会に行きたいと思っています。

以上
なでしこ青指一同
(古澤、稲毛、豊田、滝沢、林、田中、石川、田邊)



～勝原地区子ども大会～

実施日 5月19日



今回は湘南平でのオリエンテーリング、久しぶりの外での開催となりました。まずは湘南平まで歩いて登ります。山の中、一人ではあまり歩かない遊歩道を登ってちょっとバテ気味…。(大人の方か?)でも頂上では、班の仲間と地図とヒントをもとに考え、ポイントを元気に探し回っていました。

天候が少し危ぶまれたものの、多くの中学生ボランティアやPTAの方々にも協力していただき、無事に開催することができました。



松が丘地区子ども大会

今年の子どもの大会は平塚市としても、また松が丘地区としても記念すべき50回目の大会になりました。我が松が丘は代々、子ども達が主体となり企画・運営を行っており、今年も11名の5、6年生実行委員が盛り立ててくれました。青少年指導員、地域の大人たちはその活動を支援、見守っています。子供たちの目を輝かせ生き生きとした活動から、大人たちはパワーを貰い、地区全体が「層エネルギッシュな空気」に包まれます。今年なんと、198人の子ども達が参加してくれました。

さて、今年の松が丘子ども大会は練りに練って、次の運動競技2種目 ①シャトルラン②ドッジボールや、レクリエーション性の高い③ボール投げ④スリッパ飛ばし⑤ストラックアウト⑥ペットボトルボーリング⑦豆つかみを行いました。6月の初夏に思いつき体を動かし、汗をかいたときに待っていたのがかき氷です。子供たちは長い列を作り、順番にかき氷を貰います。中には2杯目、3杯目の子も。シャトルランでは基礎体力を測り、大縄跳びではチームワークを、そしてなにより自然したのはドッジボール。中にはテクニックや手先の器用さを競って楽しみ、仕上げには大人も参加、全員がパン食い競争で夢中にパンをくわえてゴール!アッという間に時間が過ぎていきました。どの競技も5、6年生のお兄さん、お姉さんが低学年の子ども達を気遣い、一体感の中で、大盛況のうちに終わった今年の子どもの大会、今から来年の51回大会が楽しみです。新しい子ども実行委員の力で盛り上げて貰えると期待しています。



松原地区 こども大会

2018(平成30)年6月16日(土)曇り。午前9時より、松原小学校で第50回!! こども大会が開催されました。前日からの雨で、当日は雨バージョンの体育館でのゲーム大会となりましたが、大会には1年生から6年生まで総勢127名の参加があり、13班に班分けし、輪投げやユニカール、イントロドンなどの9つのゲームに挑戦。

5・6年生が低学年の面倒を見ながら 1種目10点の競技を90点満点目指して頑張りました。最後は5班と6班が58点で同点の接戦! そして最後の競技のボール送りで3秒の差となり6班が優勝しました。そのあと 1位から3位の表彰があり、参加者全員にパンが配られ解散しました。末筆ながら、今年もPTAの保護者の方々にお手伝いを頂き、子ども達に怪我もなく、無事に終了することが出来ましたことお礼申し上げます。

体育館は大賑わいVV



今日だけは廊下も競技場!



相模地区子ども大会



今年度の相模地区子ども大会は、毎年恒例の「ドッジボール大会」を

6月2日(土)相模小学校校庭にて開催いたしました。

天候にも恵まれ校庭には、元気な子どもたちの声・楽しそうな顔を見ることが

できました。

子どもたちは勝利を目指して無我夢中で試合に取り組んでいました。

今年度も相模小学校・相模小PTA・中学生ボランティア・地域の皆様のご協力

で開催できましたことを心から感謝申し上げます。



祝 第50回 富士見地区子ども大会



<フライングディスクゴルフ>

昨年度から仲間入り、ニュースポーツとして市も普及に努めています。ボールと違って、ディスクは投げやすい!



<大声コンテスト>

優勝した児童は、なんと120テンセル! 「わー! あー! しゃー! ぽかー!」など、好き好き言葉で叫びます。

今年も富士見小学校の校庭に500名近い児童が集まり、地域の大人とゲームを楽しみました。



他にも、「飛び越しくぐり」や「PK戦」、「ビー玉運び」があり、いろいろなことに挑戦できます。

<ストラックアウト>

すっかりおなじみの競技。球投げたいへんですが、的の板が飛んだときの、子どもの気持ちや声は、格別です。



<お菓子でタッシュ>

最後のプログラムは毎年この種目。パン食い競争のように、お菓子の量をどいませ。最後は大人も入って、大盛り上がり!!



祝 子ども大会 50周年/崇善地区

子ども大会 50周年おめでとうございます。これまで主催者として関わってこられた青少年指導員の諸先輩、学校・地域諸団体の関係者、そして、中学生ボランティアの皆さんへ感謝と敬意を表します。誠にありがとうございました。

当地区は、以前ウォークラリーや紙飛行機など内容を毎年変えていましたが、2005年以降は小学校運動会に披露するダンスをメインイベントにしています。子供達の笑顔はエネルギーで素敵です! 私たちは「ありがとう」を合言葉に、子ども達が地域の方々と触れ合えるよう大会運営に取り組んでいます。普段の生活で子ども達から素直に「ありがとう」と言えるように願っています。



今年の子どもの大会は第50回という節目の大会となりました。

沢山の子どもたちの笑顔を楽しみに育成会、各協力団体、最近では山岳団体も加わり賑わいを増しています。さらに学校関係、中学生ボランティアの参加は港地区の一体感を感じます。

港自治連の協力により、記念としてタオルを作成して、参加してくれた子どもたちに配布することも出来ました。

子ども大会終了後でも、港地区のイベントのとき、配布した

タオルを持って来る子供を見ると嬉しく思います!



祝 第50回 港地区 子ども大会

四之宮地区子ども大会を終えて

四之宮地区子ども大会では、1年生から6年生まで総勢157名の参加がありました。体育館を半分に分け、ジュニアリーダーズクラブの方々の下で身体を使ったゲーム、青少年指導員の下ではミニゲーム（ストラックアウト、ユニカール等計6種類）を実施、子ども達の笑顔のもと、大人も楽しませて頂きました。また、チーム分けを行う際は、1年生から6年生の混合チームとし、上級生が下級生の面倒を見るよう工夫しました。催し物の内容など、見直していなければならない点が多々ありますが、子供達の笑顔のため、またその笑顔を見て大人も一緒に楽しみたいと思っています。



当日ご協力頂いたジュニアリーダーズクラブの方々、毎年助かっております。子供達の心を掴むのが本当に上手ですね。子供達も本当に楽しそうに遊んでいました。うらやましい限りです。ありがとうございます。来年も是非ともよろしく願い致します。

四之宮地区青少年指導員 安楽知己

祝

五月十三日(日)に第五十回花水地区子ども大会が花水小学校で開催されました。参加人数は、小学生七百名、幼児百名、保護者二百名、スタッフ三百名(概数)。

花水地区 青少年指導員協議会

バスランニング

浜岳リーダーズクラブはボリング企画準備・運営で大忙し。

ポーン

ほんの一部の紹介ですが、花水小学校、各種団体様、御協力いただき本当にありがとうございました。

中庭

はしご車体験

空手体験

祝

花水地区 子ども大会

「旭地区子ども大会」

旭地区子ども大会は、旭小学校にご協力をいただき、旭小学校体育館で5月12日に実施しました。内容はプロジェクトアドベンチャー (Project Adventure) を意識した保護者参加の「仲間づくりゲーム」となります。当日は多くの児童・保護者・未就学児に参加いただきました。

開会の言葉から始まり、校長先生のご挨拶、準備体操のあと、緊張をほぐす目的で「握手ジャンケン」「みんなおに」を実施し、チームを編成する目的で「人数あつめ」を実施しました。未就学児を対象にしたゲームは「よーいドン」を実施し、続いてあらかじめ決めておいたチーム別に「ラインアップ」、「スタンド・アップ」、「協力玉入れ」、「フープリレー」の4種類のゲームを実施しました。子ども達の元気な姿は、何よりも輝いて見え、大人達の心を癒してくれるものと改めて感じることができました。子ども達には、この子ども大会を通じ、仲間や地域とのふれ合いの大切さを少しでも感じ取って欲しいと思います。最後となりますが、旭小学校の諸先生方、PTA学級リーダーの皆様、旭児童保育会の指導員の皆様のご協力で「第50回旭地区子ども大会」が無事行われたことを青少年指導員一同心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。



中原地区子ども大会

～おぼけやしき～

第50回の中原地区子ども大会は、6月2日(土)、中原小学校のご協力をいただき、校舎内で開催を致しました。参加人数は350名、来賓、ボランティア、保護者、役員を含めると総勢540人と大規模に大会を開催することが出来ました。平成25年以降、かかる大会からおぼけやしき大会に変更し、早くも今年で6回目の開催となりました。

実行委員会では、毎年反省会を行い改善点を修正することは勿論、少しづつではありますが、おぼけグッズや備品の購入、また大勢の方からの寄付を募り、この大会をより盛り上げようとして参りました。地域の皆様のご理解、そして連携の中で、お陰様で、毎年参加人数を伸ばしながら大会を継続して運営することが出来ています。

おぼけやしきの魅力

大会当日、子ども達の表情はこわばっている子、今にも泣きだしそうな子、また、楽しんではいない子もいます。怖いの、、、、怖いけど挑戦したいのでしようね。そうしたドキドキワクワク感も、毎年の参加人数に表れているのだと思います。一方、来賓、ボランティア、役員等の大人達であります、大人達も、この演出をした子ども達の反応はどうだろうか？このおぼけに変装したら喜ぶかな？それとも、怖がるかな？などなど、大人達自らも楽しみながら企画、運営をすることができております。「子ども達の為」は勿論ですが、企画、運営側も楽しめることが非常に大事な事なのでしょう。今後も、老若男女が楽しみながら、この子ども大会を地域との連携で発展させて、いきたく思います。大会にご協力頂きました関係各位には、改めて心から御礼を申し上げます。

中原地区青少年指導員 一同

真土地区第50回子ども大会を終えて

記念の第50回目当日、前日の雨が残り何年かぶりの小学校体育館で行われた。真土地区伝統の「野外炊事」が出来なくなり調理室を借用し炊事を行う事とした。

真土地区で続いていきました「野外炊事」は校庭で火起こしカレー・シチュー等を作りながら、空いた時間で「お楽しみゲーム」を行います。アウトドアが好きな子(家庭)は火起こし作業はよく知っておりますが、体験していない子にも火起こし作業を行ってもらい、「火」を体験することが近い将来の防災訓練の一つとも考えます。「お楽しみゲーム」は子ども実行委員会を立ち上げ、子ども実行委員のアイデアを取り入れる形にしております。子ども大会の開催時期については、春に行っていた時期もありましたが、ここ数年は秋に開催しております。運動会は、春に済んでいる事、11月前後ですと1年生もやっと学校に慣れてきた時期、5・6年生も下級生の面倒を見られる頃だと思います。今回子ども実行委員5・6年生で全員女子でしたが、来年は男子の参加も希望します。



「祝! 第50回 南原地区 子ども大会!」

2018年6月17日(日) 10時~15時、南原小学校で、「みんなで挑戦! ドミノ倒し&脱出ゲーム」をテーマに開催!

ドミノ倒し、脱出ゲーム、謎解き、人間知恵の輪、ほっとドッグづくりなどを行い、楽しく過ごしました。

最後に、みんなでつないだドミノを倒して無事大成功!

ドミノは、日本ドミノ協会から2万個レンタルしました。全員が様々な形の並びつくり真剣に取り組む、時には倒れることもありましたが、めげずにつないでいきました。

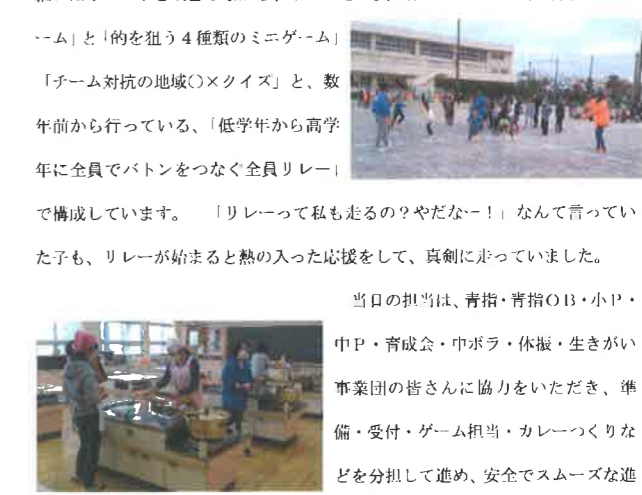


横内地区子ども大会

11月4日(土)雨を心配する程の雲空を見上げながら、協力を頂いた団体の方々準備を開始しました。「今年度は50回の記念の大会なので、終わるまで降らないでほしい」という思いは伝わったようです、幸い 時的な小雨がありましたが、子ども大会を全員で楽しむことができました。

子ども大会は、6月の地区活動の「卒業生による高校紹介」が終って、7月の定例会で提案した後に着手しています。 現在の内容は、先輩青指から引き継いだイベントを改善しながら、すべてを全員が楽しめるように、「障害物のゲーム」と「的を狙う4種類のミニゲーム」「チーム対抗の地域×クイズ」と、数年前から行っている、「低学年から高学年に全員でバトンをつなく全員リレー」で構成しています。 「リレーって私も走るの?やだー!」なんて言っていた子も、リレーが始まると熱の入った応援をして、真剣に走っていました。

当日の担当は、青指・青指OB・小P・中P・育成会・中ボラ・体振・生きがい事業団の皆さんに協力をいただき、準備・受付・ゲーム担当・カレーづくりなどを分担して進め、安全でスムーズな進行を心掛けて行いました。協力いただいた皆様に感謝し、今後も継続できる子ども大会と、地域が協力し合える活動を進めていきたいと思います。



八幡地区子ども大会

校庭の芝が生い茂り、土の香りと木々からの新緑の香りが南の風にまみれながら、八幡地区を駆け抜けた6月3日、第50回八幡地区子ども大会が約130名の子ども達の笑顔のもと開催されました。青少年指導員6名全員が今年度からの新任者であり、日も浅い状態で子ども達の心をつかみ、有意義な時間を与えられるのかとても不安でしたが、前任者のサポートもありその不安も段々と使命へと変わり、なんととてもやり遂げるという意欲に満ち溢れました。そして当日、学校教育関係者や諸団体、中学生ボランティアの方々協力のもと、小学校の体育館に開始の合図とともに子ども達の歓声が響き渡りました。怪我の無いように恒例のラジオ体操でウォーミングアップ。その後神明中学校吹奏楽部の空気を揺らす迫力のある演奏で、子ども達の心躍る気持ちを一時抑え、見えるはずのない音色を探すかのように指揮者の先を食い入るように見つめていました。演奏も終わり体育館全体を使い5種のゲーム競技が開始。はやる気持ちを抑えていた子ども達のボルテージは一気に最高潮! そんな背中を少し押せた空間はいつの間にか心が一つになり、夢と希望に向かう小さな背中を少し押せたのだと実感できました。そして自分たちの心も達成感と充実感で、いつの間にか梅雨の防れを待つ静かな青い空を見上げていました。



吉沢地区子ども大会

今年の吉沢地区子ども大会は50回目を迎える事となりました。一昨年から、吉沢地区ふれあい夏まつりと同日に開催し2部制にする事で、できるだけ多くの子ども達に参加していただけるように配慮し、お蔭様で328名の方に参加いただく事ができました。

平成30年8月11日(土)9時~21時

- 第1部：パークゴルフ体験(湘南ひらつかパークゴルフ場)
- 第2部：ミニクレープ販売(吉沢地区ふれあい夏まつり会場)

「大自然で遊べ!きさわの子どもたち」と題したパークゴルフ体験の準備には、湘南ひらつかパークゴルフ協会会員様とのスケジュール調整や指導員確保のために、何度も打ち合わせを行い、当日まで滞りなく会を開催する事ができました。こども大会の案内状に「平塚市ちいき情報局・吉沢地区青少年指導員」ページへリンクするQRコードを設け、当日の雨天時等の連絡方法を工夫した点は、ご父兄から大変好評でありました。



金目地区子ども大会

祝 第50回金目地区子ども大会は、恒例のウォークラリーを開催しました。子どもたちは10名前後のチームを作り配布されたコマ地図を頼りにウォークラリーをスタートして行きます。エコ・ミュージアム「金目まるごと博物館」に登録されているいくつかのポイントを巡り、各ポイントに設けられたクイズを解きながら、約1時間から1時間半かけてゴールを目指します。子ども大会は、私たち青少年指導員だけでなく、打ち合わせ合同会議やコースの合同下見の段階から関連団体等多くの方々に支えられて、開催しています。子ども達には、この子ども大会を通して、地域の方々や金目の自然・歴史とふれあい何かを感じてほしいと願っています。

以上



金田地区子ども大会

~今日から、君も陶芸家!~

金田地区では、これまで花菜ガーデンを会場にしてウォークラリーを行っていましたが、昨年度より市内にある工房の協力を得て陶芸教室を実施しています。実施日は『芸術の秋』にちなんで10月開催(今年度は28日)です。予算の関係から材料(粘土)の費用は自己負担(一部子ども大会予算から補助)ですが、多数の子どもたちや保護者の方に参加いただいています。



当日は、中学生ボランティア(K.V.C)をはじめ、小学校PTA・子ども育成会の方たちにも協力をお願いして、粘土を前にして悪戦苦闘している子どもたちへのサポートをしていただいています。昨年度、今年度ともに子ども大会当日の子どもたちは、生き生きと製作活動に取り組んでいます。また、焼き上がった作品を受け取る時の子どもたちの笑顔は最高です。

参考まで

- ・材料費は「色つけ」「焼き」も含めて600gの粘土で600円です。
- ・製作に必要な道具は、工房で用意してくれます。
- ・焼き上がるのは、1ヶ月半後くらいです。



土屋地区子ども大会

「第50回平塚市子ども大会」おめでとうございます。今回の子ども大会の種目は「ユニバーサルカーリング」の略でスライドカーペット上に専用ストーンを円形の目標地点により近づけることを競う陸上版カーリングです。これは子どもから年配者まで楽しめる競技です。当日は子ども40名(幼稚園・小学生)と多数の中学生ボランティア・大人で総勢90名参加でした。土屋小学校体育館内に7レーンを設置して1チーム4~7名で構成し1ゲーム交互3投×6回の合計点で勝敗を決めます。殆どの方が初体験の競技なので、始まる前はどのようなことやらと思っていました。始まる前は熱気に包まれました。「エイヤー」「うりや~」「よいしょ」「いけ~!」「よっしゃー」「いいぞ!」「しまった~」子ども達は元より中学生・来賓・先生・自治会長も夢中でストーンを滑らせていました。重さ3kg程のストーンなので幼児達はとても重かったと思いますが一生懸命でした。小学生も最初は投げ方やゲームの方法も分からず、ぎこちない投げ方だったのが大人と一緒にやることで投げ方や戦略・戦術を覚え終盤は自分たちでセルフジャッジを行いスコア付けまで出来るようになりました。「温故知新」とい諺があります。「昔の物事を良く知って、そこから新しい知識や見識を得ること」ですが、正に今回の子ども大会は「50周年記念大会」通りの展開で「50年前の子ども」と「今の子ども」が楽しく大人と一緒にやってやったことで、自然と学んだことが多かったのではないかと思います。これからの少子高齢化問題で、いま本屋で売られている書物に「未来の年表」という本があり、「人口減少日本これから起きること」…公共サービスの低下・学校統廃合・後継者不足で大産業時代等が載っていて読めば読むほど未来が「お先真っ暗」ではないか。でも、今の「現役」がリタイヤした時に「未来の現役」にこの社会を担ってもらわなければならない、そのためには今出来ることをしっかりやって次世代の糧になってくれたら幸いです。



城島地区子ども大会

毎年同じ事をしているつもりでも、毎回改善点が見つかります。今までは小学校児童を中心とした考えでしたが、来年度は参加者全員(来賓・保護者)に配慮した大会運営をしたいと思えます。100%は無理ですが、100%に近づける努力はします!

豊田地区子ども大会

平塚市子ども大会第50回開催おめでとうございます。我が地区でも5月第2土曜日青空のもと、小学校体育館でミニ運動会を行いました。靴とぼし、ボール送り、的入れ、障害物競走などが主な内容です。今年最大のイベントとして7地区の参加者全員色分けした折り紙で「こいのぼり」を作り泳がせました。それがこの作品です。子どもたちが短時間で造り上げ、よく頑張ってくれました。



岡崎地区子ども大会



~ 第50回子ども大会を終えて ~

平成30年8月17日(日)に岡崎小学校体育館にて、「えがおでつながろう~岡崎の“わ”」のスローガンのもと、「第50回平塚市子ども大会 岡崎地区大会」を開催しました。岡崎地区青少年指導員協議会が主催となり、岡小PTA・中学生ボランティア・小学生ボランティア・地域の方々など多くの方のご協力のもと、100名を超える小学生が参加してくれました。今年もあえて体育館で実施してみました。お天気の心配もなく、子供たちもそれなりに楽しんでくれたのではないかと思います。プログラムの最後には子ども大会50周年を祝い、全員で人文字の記念撮影を行いました。

来年はもっと多くの子どもたちに参加してもらい、より盛大で楽しい子ども大会を開催したいと思います。

《神田地区子ども大会》

祝 50周年!受け継がれてきた子ども大会の歴史!そして私達は、これからも子ども達のために...

